

がん検診を受けて安心 未来の笑顔

問 健康課 ☎55-6800 ID 11296

一生のうちで約2人に1人が、がんと診断される可能性があり、男性の4人に1人、女性の6人に1人が、がんで亡くなっています。

現在、わが国のがんによる死亡者数は年間38万人を超え、死亡原因の第1位です。そのうち、主に20～60歳代前半の働く世代のがん死亡者数は全体の約1割ですが、40歳を過ぎると年齢とともにがん死亡者数は増えていきます。自分だけでなく家族のために、健康なときから定期的に検診を受けて、がんを早く見つけることが大切です。



がん検診の流れ

STEP 1

5月中旬発送

受診券を確認



STEP 2

5/24(金)から

実施医療機関に予約



STEP 3

6/1(土)～10/31(木)

検診を受診

異常なし
⇒今後も推奨される頻度で受診
異常あり
⇒精密検査、診断・治療を受ける

受診券

早期発見・早期治療で 完治する確率は 限りなく100%に近づきます

がん検診は無症状の人が受けることが原則

自覚症状があり精密検査でがんが見つかったかたと、定期的ながん検診で見つかったかたを比較すると、明らかに予後に差があります。

早期発見・早期治療をすることで、完治する確率は限りなく100%に近づいてきています。今はがんが見つかったときにほとんど告知されますが、それは治るケースが多くなってきているためです。

検診を控えたかたが、がんになったことも

定期的に検診に来ていたかたが、コロナをきっかけに受診が途絶えてしまい、進行がんが発見されたことがありました。検診が途絶えなければ早期に発見できたかもしれません。今は、医療機関も感染症対策をしっかりやっていますので、コロナを心配せずに来ていただきたいです。

女性のがんは若くても特に注意を

乳がんは40～50代がピークで、子宮頸がんはもっと若いかたでもなる傾向にあるため、働き盛り、子育て世代ががんになる可能性があります。若いうちから検診を受けることが推奨されています。



花井雅志 医師

せとかいどう花井クリニック院長
(一社)瀬戸旭医師会 地域保健理事
市がん検診事業 評価・検討委員会委員
日本乳癌学会 専門医
日本消化器病学会 専門医 他

検診は安心するために

よく、結果が怖いから検診をためらうかたがいますが、怖がって検診を受けない方が怖いです。検診はほとんどのかたが“異常なし”の結果です。ぜひとも、安心するために受けてほしいです。がん検診は、職場での検診の他に市の補助を使って受けることができます。忙しいかたのために、夕方の診療や土曜日でも検診を受けられる医療機関もあります。ぜひ、時間を見つけて検診を受けてください。

子宮頸がんはワクチン接種と検診で90%予防可能



浅井英和 医師

旭ろうさい病院 婦人科主任部長
日本産婦人科学会認定産婦人科専門医・指導医
日本婦人科腫瘍学会認定婦人科腫瘍専門医・指導医 他

子宮頸がんの原因は、女性の多くが一生涯に一度は感染するといわれているヒトパピローマウイルス (HPV) の感染です。他のがんと違い、がん検診の受診とワクチンの接種で、90%以上を予防することができ、海外では高い接種率でほぼ根絶できている国もあります。過去に積極的な勧奨を差し控えていましたが、現在は専門家の評価により、安全性が確認されています。ぜひ、接種を検討してください。

公費による無料接種対象者

- 定期接種 (ID 1744) / 小学6年生～高校1年生相当の女性
- キャッチアップ接種 (令和7年3月31日まで) (ID 1742)
/ 平成9年4月2日～20年4月1日生まれの女性

検診ってどんなことをするの？

ID 11296

死亡者数が一番多いがん

肺がん検診

対象者

40歳以上

胸部X線
検査



所要時間約5分

肺の病変だけでなく、心臓の異常も分かる

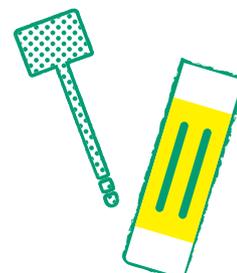
かかる人数が一番多いがん

大腸がん検診

対象者

40歳以上

便潜血
検査



自宅で2日分の便を取るだけ!

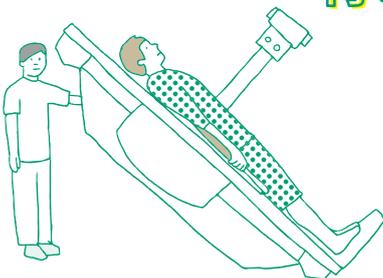
50歳以降で急増。早期発見・早期治療で良好な経過が期待できる

胃がん検診

対象者

40歳以上

X線
(バリウム)

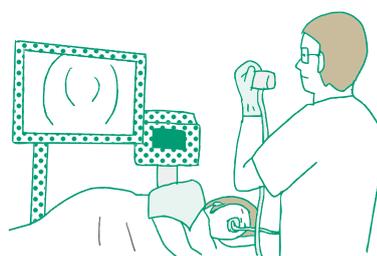


発泡剤で胃を膨らませ、バリウムを飲んでさまざまな方向で胃を撮影

対象者

50歳以上
(2年に1回)

内視鏡
検査



細長い管(スコープ)を口か鼻から入れ、胃粘膜を直接観察

保健師が答える

がん検診

Q&A



Q. 家族ががんだと私もなりやすい？

A. 生活習慣が同じだと要注意!

遺伝するがんも一部見つかっていますが、それよりも食生活などの生活習慣が同じだと、がんになりやすい傾向にあります。定期的な受診とともに、生活習慣を見直すことも重要です。

Q. がんがある人が検診を受けると100%見つかる？

A. 100%ではありません。

見つけにくい場所にあるなど、見つからない場合もあります。少しでも異変を感じたら、次の検診を待たず医療機関を受診してください。

Q. がん検診で精密検査が必要と判定されたが、検査が必要？

A. 必要です。

「がんの疑いを含め異常(病気)がありそう」と判断されたということなので、症状がないからといって精密検査を受けないと、早期で見つかるはずのがんを放置することになりかねません。

Q. 自覚症状もなく多忙なため、検診を受けなくても良い？

A. ぜひ受診してください。

市で実施した令和5年度のがん検診では、自覚症状のない40~60歳代のかたの早期がんも見つかっています。

痛みもほとんどなく、数分で受けられる検査もあります。また、市が実施する検診は、個人負担も約2割だけです。早期発見できれば治療の選択肢が増えます。定期的に検診を受けましょう。

かかる人数が年々増加

前立腺がん検診

対象者

50歳以上
(3年に1回)

血液
検査



血液検査によりPSA
(前立腺で作られるたんぱく質)
値を測定

若い世代に多い

子宮頸がん検診

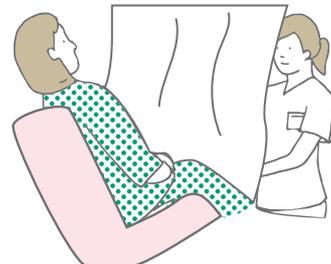
対象者

20歳以上
(2年に1回)
※40~59歳は毎年

頸部
細胞診

視診

内診



子宮頸部(子宮の入り口)を
ブラシなどでこすって細胞を
採取

乳がん検診

対象者

40歳以上
(2年に1回)

乳房をプラスチックの
板で挟んでレントゲン撮影

マンモ
グラフィ



女性がかかるがん第1位
早期発見・早期治療で
約9割が治るがんです。



がんと診断されたかたへ

補助や支援があります

ID 2692

アピアランスケア支援事業 ID 1598

治療による脱毛などの症状などにより購入したウィッグ、乳房の変形に対する補整具の購入費用の一部を助成します。

- ▶ 助成額 購入金額の2分の1、上限2万円
- ▶ 申請方法 購入した日の翌日から1年以内に、申請書などを健康課に提出

出張がん相談

がんの治療やその後の療養生活など、
がんに関するさまざまな相談に応じます。
※予約は不要(詳細は、27ページで)

若年がんで在宅療養されるかたへの支援 在宅療養支援事業 ID 30788

訪問介護などの在宅支援や、福祉用具の貸し出し・購入費用などを助成します。

- ▶ 対象者 40歳未満で回復の見込みのないかた
- ▶ 助成額 対象経費の約9割相当額、1カ月上限5万4千円
- ▶ 申請方法 利用(購入)月の翌月から1年以内に、申請書などを健康課に提出(要事前申請)